

1. 短期アウトカム、アウトプット、活動について

短期アウトカムを事業、組織、財源の3本柱に分類し、4個設定した。達成時期は中期計画（1～3年後）とし、それぞれにアウトプット、活動を計画している。2025年度に特に注力するアウトプット、活動について以下に詳述する。

「事業」の柱

【短期アウトカム1】

子ども若者支援、家庭支援、災害支援に特化した助成、組織基盤強化、環境整備を実施することにより、民間公益活動における地域の基盤を強化する

【アウトプット1】

- 1-1. 休眠預金活用事業による子ども若者支援、家庭支援、災害支援における助成、組織基盤強化、環境整備を実施している
 - ・2023年度通常枠「困難を抱える家庭を取り残さない仕組みづくり」は2年度目を迎え、6つの実行団体の関係構築もなされ、コレクティブインパクトチームとして関係者を増やしなが、活動を拡大する予定
 - ・2024年度通常枠「ひとりひとりに合った多様な学びを支える地域共生事業」では、学校に行けない、行かない子どもとその保護者に対して、アウトリーチ、地域、学びの場の三本柱で事業を実施する。4月より公募を開始し、5団体程度を採択予定。実行団体の事業開始は8月予定。
 - ・災害対応については、発災時に適宜、休眠預金の活用を検討する
- 1-2. 休眠預金活用事業の活動支援団体として、子ども若者支援、家庭支援、災害支援におけるCSOの組織基盤強化、環境整備を実施している
 - ・2024年度活動支援団体「筑後川関係地域の子ども若者支援の持続可能性向上プログラム」では、事業継承、権限委譲を中心テーマに子ども若者支援を行うCSOの持続可能性向上を目指す。5月より公募を開始し、支援対象団体の事業開始は10月を予定している。
- 1-3. 独自プログラムにより子ども若者支援、家庭支援、災害支援における助成事業を実施している
 - ・今年度、子ども若者応援助成の実施予定はないが、今後の基金の運用について計画を策定する。災害支援基金による助成は発災時に実施する。
- 1-4. 独自プログラムとして、CSOの組織基盤強化事業、環境整備事業を実施している
 - ・伴走支援の体系化を進め、有料メニューとして確立する。
- 1-5. 行政からの委託事業により、CSOの組織基盤強化事業、環境整備事業を実施している

【活動1】

- 1-1-1. 休眠預金活用事業 2023年度通常枠の実施
- 1-1-2. 休眠預金活用事業 2024年度通常枠の実施
- 1-1-3. 休眠預金活用事業による災害支援の実施
- 1-2-1. 活動支援団体として事業を実施する
- 1-3-1. 子ども若者基金に関する計画の策定
- 1-3-2. 災害支援基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施
- 1-3-3. 多様な学びの場を保障する基金による奨学金事業の実施
- 1-3-4. 生田幸平・裕子基金による奨学金事業の実施
- 1-4-1. CCF組織基盤強化メニューの実施
- 1-4-2. CCF環境整備メニューの実施
- 1-5-1. 久留米市プロポーザルへの申請
- 1-5-2. 久留米市委託事業の実施

【短期アウトカム2】

コミュニティの持続可能性向上をテーマ（子ども若者支援、家庭支援、災害支援以外の分野）とした助成、組織基盤強化、環境整備を実施することにより、民間公益活動における地域の基盤を強化する

【アウトプット2】

- 2-1. 休眠預金活用事業によるコミュニティの持続可能性向上をテーマとした助成、組織基盤強化、環境整備を検討している

【活動2】

- 2-1-1. 休眠預金活用事業 2025年度通常枠への申請を検討

「組織」の柱

【短期アウトカム3】

公益財団法人として更なるガバナンス・コンプライアンス体制の強化ができ、地域社会から信頼されている

【アウトプット3】

- 3-1. 公益財団法人化が実現している
 - ・今年度中の公益財団法人化を実現し、組織体制の強化、財源の強化に繋げる。
- 3-2. グッドギビング認証制度について検討できている
 - ・来年度の更新に向けて、ガバナンス・コンプライアンス体制のチェックリストをもとに確認する。

【活動1】

- 3-1-1. 公益財団法人化のための申請作業
- 3-2-1. 規定類の整備状況のチェック
- 3-2-2. 規定類の運用状況のチェック
- 3-2-3. 更新のための申請

【短期アウトカム4】

「プログラムオフィサーやバックオフィスに適材適所の人材確保がなされ、かつ業務効率が改善されることにより、グループ・ダイナミクスが起きている」

【アウトプット4】

- 4-1. P0人材が確保でき、育成の仕組みができています
 - ・P0補佐の候補者の確保を常に意識する。今年度中に育成プログラムの確立を目指す。
- 4-2. B0人材が確保できている
 - ・B0人材の確保について検討する。
- 4-3. P0・B0人材がチームとして業務を実施している
 - ・P0、B0人材の連携を図る取り組みを実施する。

【活動4】

- 4-1-1. P0人材採用のための活動
- 4-1-2. P0評価プログラムの作成
- 4-1-3. P0人材育成プログラムの作成
- 4-2-1. B0人材採用のための活動（即戦力人材の確保）
- 4-2-2. B0業務ツール（アウトソーシング）の検討・活用
- 4-3-1. P0チームの組成・運用
- 4-3-2. P0・B0連携の仕組みづくり

「財源」の柱

【短期アウトカム4】

休眠預金活用事業による財源確保とそれ以外の財源として、寄付収入の増加、遺贈寄付の推進、自主事業による収入、自治体からの委託事業等の獲得により、財源の多様化と安定化を果たす

【アウトプット5】

- 5-1. 休眠預金活用事業（2023年度・2024年度通常枠、2024年度活動支援団体）による財源の確保と事業ごとの自己資金の調達ができている
 - ・各事業に入れる自己資金を調達する。2023年度事業が2年度目のため、優先的に自己資金調達の活動を行う。
- 5-2. 寄付収入が増加している
 - ・単発寄付、マンスリーサポーターの獲得により、運営への寄付を増加させることで、経営の安定を目指す。
- 5-3. 遺贈寄付の獲得、もしくは遺贈寄付につながる案件がある
 - ・イベント等の実施により、今年度中に遺贈寄付1件以上を目指す。
- 5-4. 行政等からの委託事業を獲得している
 - ・今年度中にGCF、企業連携に関する委託を獲得する
- 5-5. 自主事業による収入がある
 - ・伴走支援メニューの有料化により、今年度中に数十万円の収入を獲得する。

【活動5】

- 5-1-1. 通常枠事業ごとの基金の設立
- 5-1-2. 通常枠事業（テーマ）ごとのマンスリーサポーターの獲得

- 5-2-1. GCFマンスリーサポーター制度の改善に関わる活動
- 5-2-2. 法人寄付獲得のための活動
- 5-3-1. 遺贈寄付推進のための活動
- 5-4-1. ガバメント・クラウドファンディングについての委託事業等
- 5-4-2. CSO個別伴走支援についての委託事業等
- 5-4-3. みんなくるとの協働による資金の獲得
- 5-5-1. 有料の伴走支援メニューの実施
- 5-5-2. 出版物の発行・販売

以上